

研究開発課題中間評価結果

事業名（年度）	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業 （令和4年度～令和8年度）
研究開発課題名	実験動物カニクイザルに関するサポート機関
代表機関名（所属 役職）	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所（霊長類医科学研究センター・センター長）
研究開発代表者名	保富 康宏

【総合評価】 優れている

【評価コメント】

本機関は、SPFカニクイザルを安定的に維持しており、これまでも多くの感染症やワクチン開発研究の高い実績を有し、病原体の取扱い、感染モデル作製や評価系の樹立を含め研究支援体制のレベルは高いと評価できる。

カニクイザルの供給や感染実験等の支援が、拠点の要請に基づいて個別に行われているため、SCARDA事務局の全体調整の下で、滋賀医科大学とも協力し、優先順位を付けて支援を行うことが必要である。

今後のカニクイザルの需要について、SCARDA事務局に協力して事前の調査等を行うとともに、感染症有事等により需要が増加した場合にどのような対応が可能か、またどの程度まで対応ができるのかなど、滋賀医科大学とともに検討しておく必要がある。また、フラッグシップ拠点、シナジー拠点や解析系のサポート機関との連携にも積極的に取り組むことを期待している。

以上